

5. 鬼虎川遺跡墓制

鬼虎川遺跡の墓は、1966年11月大阪外環状線の水道管敷設工事によって組合式木棺が発見され、初めてその存在が明らかになった。1980～1981年の第7次調査では新生児骨1体分を納めた土器棺が1基見つかった。1980年の第12次調査では方形周溝墓6基、木棺墓1基、土壙墓1基が見つかった。1983年の第19次調査では方形周溝墓が2基、1984年の第25次調査では土壙墓が1基、1985～1987年の第29・30次調査では方形周溝墓8基、土壙墓5基、1989年の第31次調査では方形周溝墓が1基、1989～1990年の第32次調査では方形周溝墓が5基、土壙墓が5基、土器棺墓が2基それぞれ見つかった。

鬼虎川遺跡の範囲は東大阪市西石切町5丁目、7丁目、弥生町、宝町を中心に東西640m、南北850mと推定されていて、墓域は遺跡の北ないしは北東に所在するものと考えられている。ただ一つの大きな墓地が広がっているものなのか二つ以上の墓域が存在するのか現在のところ明らかではない。

鬼虎川遺跡では、現在までに方形周溝墓27基、木棺墓1基、土壙墓12基、土器棺墓3基が見つかった。時期は弥生時代中期前半から後半にかけてのものである。方形周溝墓は中期前半から後半、土器棺墓と土壙墓は中期後半につくられたものである。現時点では墓域の西側で最初の築造が行なわれ、順次北及び東の方へ築造されていったと考えられる。



▲第23～26号方形周溝墓

鬼虎川遺跡の方形周溝墓

方形周溝墓は平面形が方形・長方形で、周囲を溝で区画し、内部を土で盛り土して小さな墳丘をこしらえ、この墳丘に一人あるいは複数の埋葬を行なう墓で、最近では墳丘墓と呼んでいる。墳丘上や溝には供献用の土器を配置している。

主体部の埋葬は、盛り土がある程度進んだ段階で行なわれ、さらに上に盛り土して墳丘の仕上げを行なったものとみられる。

初期のものは木棺ではなく、自然木を直方体の枠に組み上げ、下に網代を敷き遺体を置いている。木棺は組合式で、底板1枚、側板2枚、小口板2枚、蓋板1枚からなっている。小口板と底板の組み合わせ方は、墓壇床面に小口板を固定させるための溝を掘り、底板の両短辺側を「コ」の字形に切り取ってその部分に「T」字形の小口板を立てるものがほとんどである。底板の両端辺に溝を掘り、底板の溝の上に小口板を立てる例は2例しか確認されていない。また、方形周溝墓の一番新しい時期(中期後半)に出現するものと考えられる。

木棺の材質はヒノキが多くみられる。コウヤマキは第5号方形周溝墓第1主体部の両小口板と第22号方形周溝墓の蓋板にみられるだけである。また第2号方形周溝墓の側板1枚にケヤキが使用されていた。いずれも中期前半の時期のものである。方形周溝墓の規模は、一覧表を見ていただければわかるように5m前後の小規模なものが多い。主体部は1基のものが多く9基あり、2基のものが6基（この内3基が墳丘上、残りは周溝に埋葬されている）で、3基以上のものは今のところ見つからない。



▲第2～4号方形周溝墓



▲第5号方形周溝墓



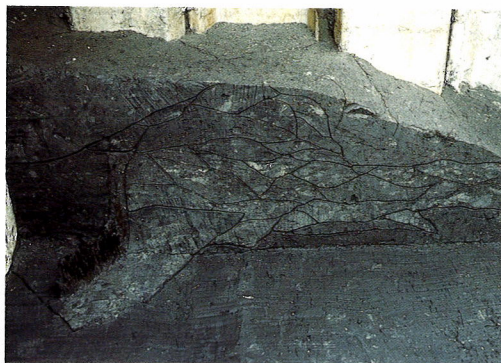
▲第6号方形周溝墓



▲第24号方形周溝墓



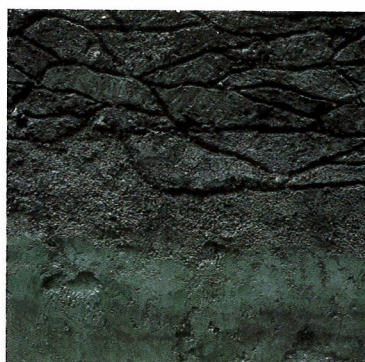
▲第23号方形周溝墓墳丘



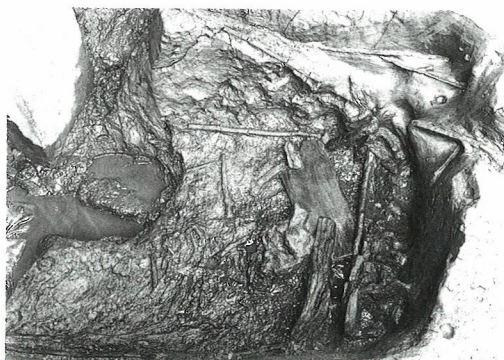
▲第20号方形周溝墓墳丘断面



▲第22号方形周溝墓主体部



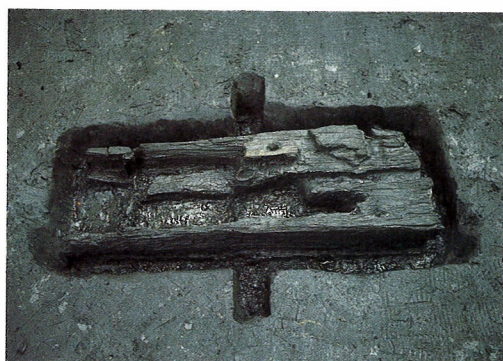
▲第22号方形周溝墓墳丘断面



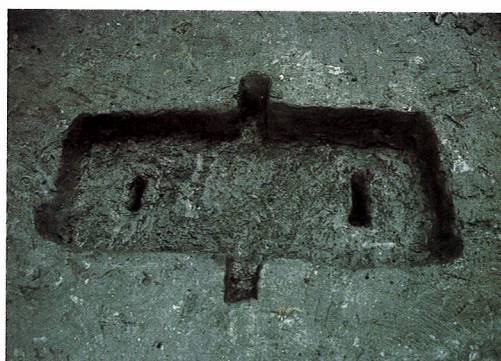
▲第19号方形周溝墓第2主体部



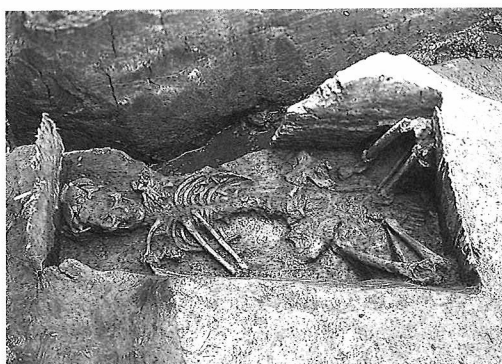
▲第19号方形周溝墓第2主体部の綱代



▲第19号方形周溝墓第1主体部



▲第19号方形周溝墓第1主体部掘形



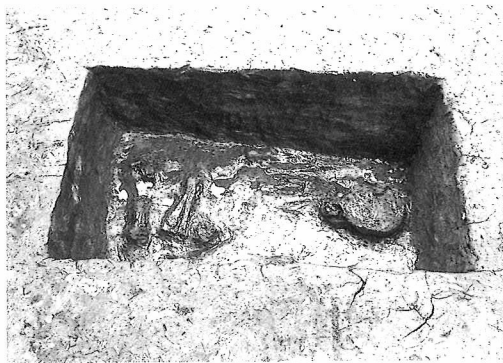
▲第5号方形周溝墓第1主体部



▲第20号方形周溝墓



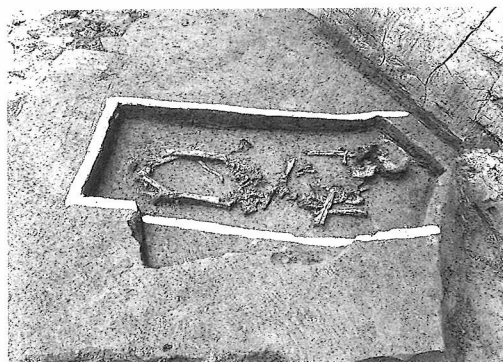
▲第2号方形周溝墓第2主体部



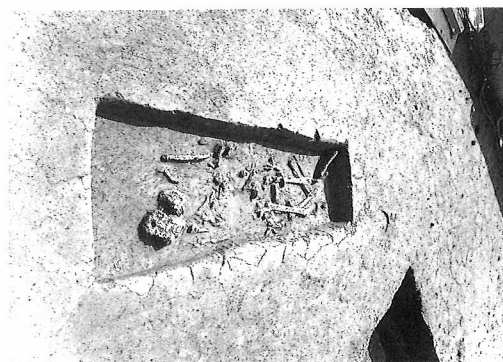
▲第5号方形周溝墓第2主体部



▲第2号方形周溝墓第1主体部



▲第25号方形周溝墓第2主体部



▲第23号方形周溝墓第1主体部

手の位置は両手とも肩部に置くもの2基、腹に置くもの1基、大腿骨付近に置くもの1基、左手を首付近・右手を腹に置くもの1基、右手を首付近・左手不明のもの1基、左手を胸・右手を腰に置くもの1基、左手を右脇腹・右手を肩に置くもの1基、不明5基である。埋葬されていた人は成人男性7人、成人女性1人、成人女性または12～13才の男性1人、成人で性別不明1人、年令・性別不明3人となっている。

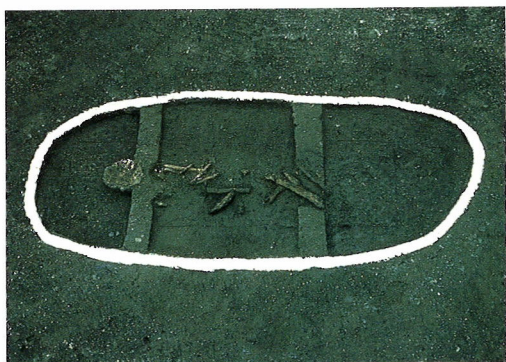
土器棺墓は日常使用している甕や壺などを棺として利用し、中に乳幼児の遺体を入れ鉢や高杯などで蓋をして地面に埋めたもので3基見つかった。いずれも縄文時代から続くものでもっとも一般的なものである。

鬼虎川遺跡より出土した棺材

名 称	蓋	側板	側板	小口板	小口板	底板
第2号方形周溝墓	ヒノキ	ケヤキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ
第5号方形周溝墓1	ヒノキ	ヒノキ	ヒノキ	コウヤマキ	コウヤマキ	ヒノキ
第5号方形周溝墓2	ヒノキ					

墓番号	人骨番号	性	年 令	埋 葬 状 態				
				頭蓋	胴骨	右上肢骨	左上肢骨	下肢骨
2	1	女	成人	?	仰	伸	伸	屈
	2	?	小児(3～4歳)	?	?	屈(腹)?	屈(腹)?	屈
4	3	?	小児(4～5歳)	右下	?	?	?	?
5	4	男	熟年前半(40代)	底下	仰	屈(胸)	?	屈
	5	?	小児(3～4歳)	底下	仰	?	?	屈
6	6	?	成人	?	?	?	?	屈
7	7	女	成人	左下	仰	屈	屈(腹)?	屈
8	8	?	壮年後半(30代)	?	?	?	?	?
11	9							
13	10							
18	11							
19	12	?	小児?	?	?	?	?	?
	13	?	成人?	底下	仰	?	?	屈
20	14	?	6～10歳	底下	仰	屈(腹)?	?	屈
22	15	女	老年	右下	仰	屈(胸)?	屈(胸)?	?
23	16		成人	右下	仰	?	?	屈
	17	男	壮年前半(30代)	底下	仰	屈	屈	屈
24	18		成人	左下	仰	屈	屈	屈
25	19	男	成人	?	?	?	?	屈
	20	女	熟年前半(40代)	右下	仰	屈(腹)	屈	屈
26	21	?	乳児(1歳)	?	?	?	?	?
	22	女	壮年後半(30代)	底下	仰	屈	屈	屈

鬼虎川遺跡方形周溝墓出土人骨一覧表



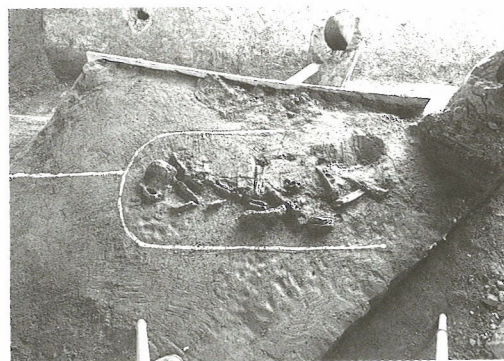
▲木棺墓



▲第5号土壙墓



▲第7号土壙墓



▲第4号土壙墓



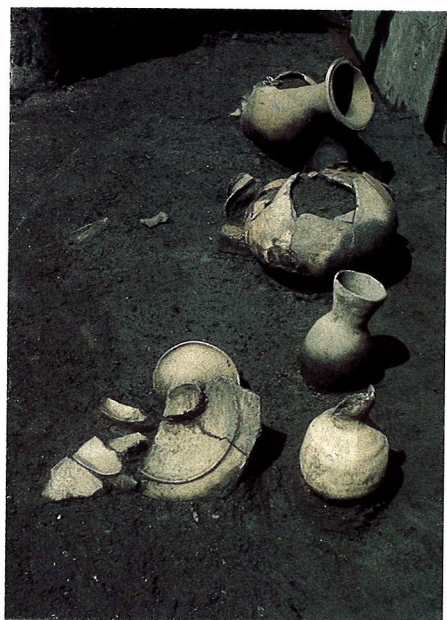
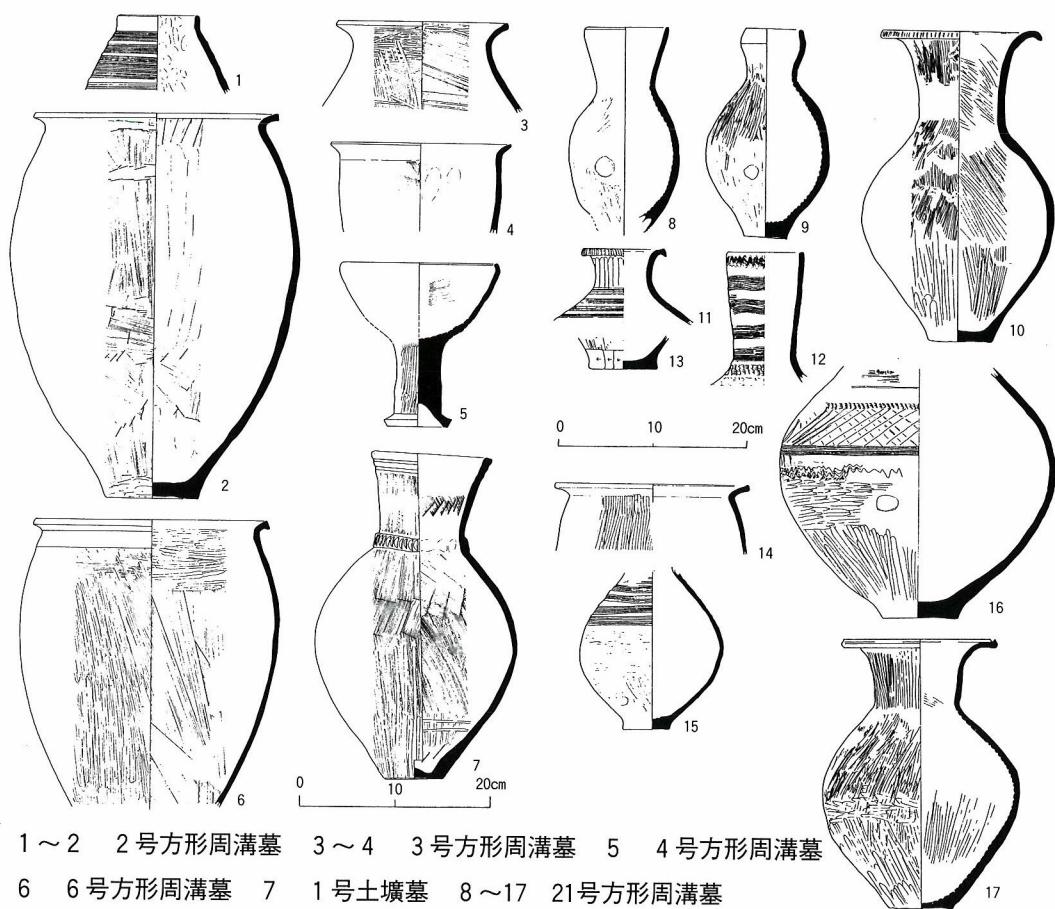
▲第10号土壙墓



▲第2号土壙墓



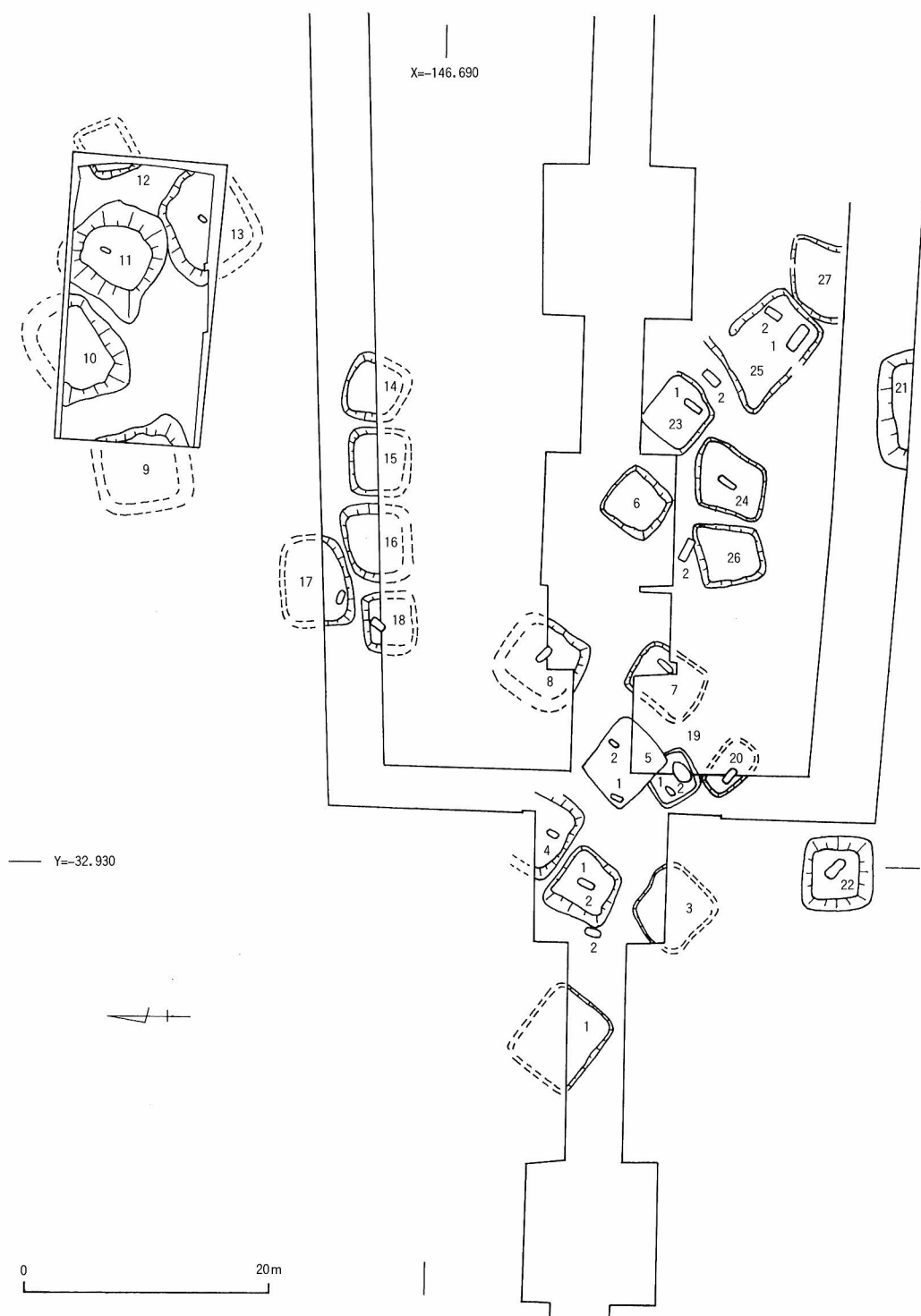
▲第9号土壙墓



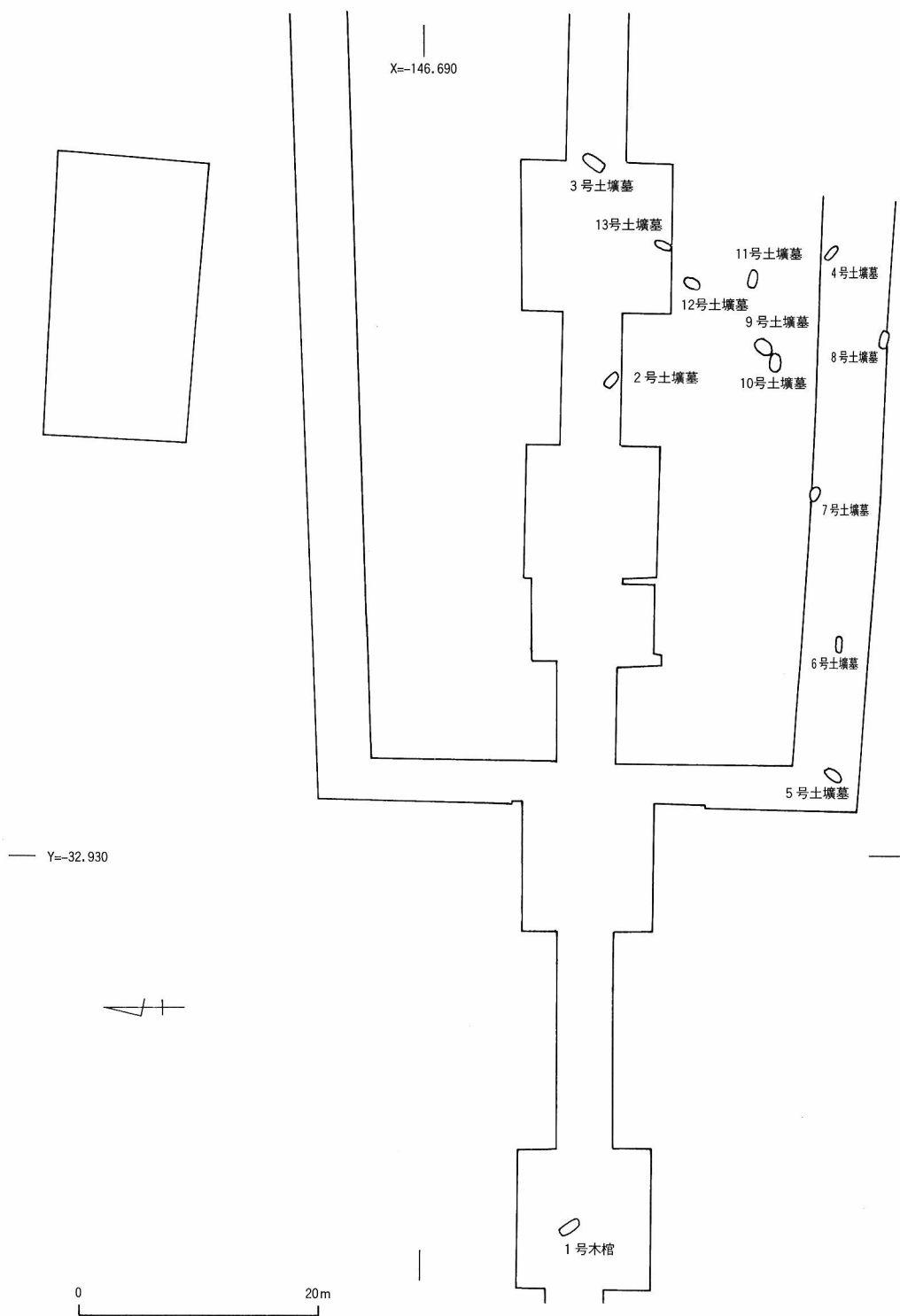
▲第21号方形周溝墓供献土器



▲第21号方形周溝墓供献土器



▲方形周溝墓の分布図



▲土墳墓分布図

番号	墳丘形状	墳丘規模	高	墳丘主軸	周溝幅	深さ	主体部 [] の数字は第5表の人名番号	備 考
1	隅丸長方形	7.0m 以上	0.2m	N-55°-W N-40°-E	0.8m	0.3m～ 0.4m		・第12次調査(第1号方形周溝墓)
2	隅丸長方形	3.5m (南東) 4.3m (北東)	0.28m	N-50°-W N-30°-E	北東側 1.4m 南西側 1.6m 北西側 2.0m	0.45m 0.3m 0.6m	・[1]溝1主体部墓の長さ1.42m幅0.63m深さ0.05m長方形 S-30°-W 木棺底板残存 ・[2]第2墓主体部墓の長さ1.15m幅0.62m深さ0.4mで底面とし小口板の部分を幅0.1m深さ0.2m2段に掘る 長方形 S-19°-W 木棺は蓋、側板、小口板、底板が残る ・埋葬犬 墓の長さ0.81m幅0.41m深さ0.18m長方形 S-30°-W	・人骨は仰臥屈肢 ・人骨は頭骨大腿骨が残存 仰臥屈肢 ・南東周溝部より甕が出土 ・頭骨のみ ・第12次(2号)
3	隅丸長方形	5.0m以上 3.0m以上	0.16m	N-50°-W N-35°-E	北東側 2.6m 北西側 1.8m	東0.5m 西0.8m 0.5m		・周溝北東側より壺、甕、スコップ状鋤、周溝北西側より鋤の柄が出土 ・第12次(3号)
4	不明	3.2m以上	0.3m	N-57°-W	1.3m	0.45m	・[3]墓残存長0.6m幅0.5m深さ0.07m長方形 S-28°-W	・人骨は頭骨のみ ・第12次(4号)
5	隅丸方形	4.3m (北東)	0.58m	N-60°-W N-45°-E	北西側 0.95m 南東側 3m (上面) 1.2m (下面)	0.3m	・[4]第1主体部墓の長さ1.5m幅0.6m深さ0.38m小口板の部分のみ幅0.21m深さ0.33mで2段に掘る 長方形 S-29°-W 木棺は蓋板、小口板、底板が残る ・[5]第2主体部墓の長さ0.8m幅0.44m深さ0.3m 長方形 S-37°-W 木棺は蓋のみ	・人骨は仰臥屈肢 ・第1主体部の南東墳丘上で高杯出土 ・人骨は頭骨、大腿骨 仰臥屈肢 ・第12次(5号) ・第29・30次(6号)
6	隅丸長方形	4.3m (北東) 3.8m (南東)	0.3m	N-60°-W N-35°-E	北東側 0.8m	0.25m	・[6]墓の長さ1.28m幅0.63m長方形 N-50°-E 木棺痕跡なし	・人骨は胸部より下半仰臥屈肢 ・南西側周溝より甕 ・第12次(4号)
7	隅丸長方形	3.0m以上 (東) 1.5m以上 (北)	0.48m	N-60°-W N-30°-E	2.0m	0.28m	・[7]墓の長さ1.72m幅0.91m深さ0.52m隅丸方形 N-46°-E 木棺は木口板の一部のみ 北側木口板0.5m 南側小口板0.45m 東・西側側板1.5m	・人骨は肋骨を除き残存 仰臥屈肢 ・第19次(7号)
8	不明	1.5m以上 3.2m以上	0.68m	N-60°-W N-30°-E	2.2m	0.52m	・[8]墓の長さ0.41m以上 幅0.7m隅丸長方形 S-62°-E	・人骨 頭骨のみ ・第19次(8号)
9	不明	4.8m以上 3.2m以上		N-17°-W				
10	隅丸長方形	5.6m 4.5m	0.6m	N-58°-E N-36°-W				
11	隅丸長方形	5.0m 4.3m		N-31°-E N-62°-E			・[9]中央北寄りに1体	
12	隅丸長方形	4m 1.5m以上		N-8°-W				
13	隅丸長方形	5.5m 4.5m以上					・[10]ほぼ中央に1体	
14	隅丸長方形	東西 5m 南北 2m	0.44m	S-74°-E N-20°-E				・第29・30次(1号)
15	隅丸長方形	東西6.4m 1.5m	0.67m	N-88°-W				・第29・30次(2号)
16	隅丸長方形	東西7.6m 南北3.0m	0.53m	N-76°-E				・第29・30次(3号)

番号	墳丘形状	墳丘規模	高	墳丘主軸	周溝幅	深さ	主体部 [] の数字は人骨表の人骨番号	備 考
17	隅丸長方形	東西3.0m 南北1.5m	0.2m	N-85°-E				・第29・30次(4号)
18	隅丸長方形	3.0m 1.3m	0.5m				・[11]木棺は蓋板、側板、小口板、底板が残る S-35°-W(頭位)	・人骨 大腿骨 ・第29・30次(5号)
19	隅丸方形	4.2m以上 3.2m以上	0.3m	N-35°-E N-58°-W	不明	不明	・[12]第1主体部墓壇の長さ0.95m幅0.42m深さ0.05m 木棺は長さ0.87m 幅0.23mの組み合わせ式 ・[13]第2主体部墓壇の長さ1.8m幅1.0m深さ0.7m 自然木を組み合わせた長さ1.3m幅0.7m深さ0.45m の枠底面に綱代を敷く 遺体の方位 N-67°-E	・人骨 小骨片のみ ・第29・30次(7号) ・第32次(19号)
20	不明	4.2m以上 2.4m以上	0.5m	N-35°-W N-55°-E	不明	不明	・[14]墓壇の長さ1.5m幅0.6m組合式木棺で蓋板、側板、小口板、底板が残る。S-54°-E	・人骨はほぼ完存 頭部周辺に赤色顔料 ・第29・30次(8号)
21	隅丸長方形	1.5m以上 6.6m	0.3~ 0.4m	N-5°-W N-85°-E	不明	不明		・第29・30次(9号)
22	不明	2.4m以上	不明	不明	東部1.9m 以上	0.95m	・[15]木棺の蓋板幅0.72m現存長1.05m南西側側板 幅0.26m 現存長0.98m 南東側小口板上面0.41m 下面幅0.33m 現存長0.28m 北東側側板の一部 底板幅0.63m現存長0.97m	・木棺の推定内寸 幅0.56m深さ0.25m長さ1.4m木棺の主軸S-36°-E ・第31次
23	不明	上 3.8m以上 4.5m 下 4.2m以上 5.4m	0.45 ~ 0.68m	N-50°-W N-35°-E	南西1.5m 南東 2.5~ 3.5m	0.3m 0.1m	・[16]第1主体部墓壇の長さ1.62m 幅0.65m小口板の部分は2段に掘る 長方形 ・[17]第2主体部墓壇の長さ1.75m 幅0.78m 木棺の長さ1.7m 幅0.8m	・仰臥位 ・仰臥位 ・第32次(23号)
24	不明	上 5.0m 5.5m以上 下 5.1m以上 5.6m以上	0.5m	N-60°-W N-35°-E	1~2m	墳丘頂部から 1.0m	・[18]墓壇の長辺1.5m 短辺0.5m 遺体の方位 N-32°-E 東側側板のみ残存	・人骨は全身が残る 仰臥位 ・第32次(24号)
25	不明	上 7.0m 8.0m 下 7.5m 8.2m	0.34m	N-50°-W N-60°-E	西側 3.7m	0.3m	・[19]第1主体部墓壇 長辺0.95m以上 幅0.5m 深0.18m 遺体の方位 S-31°-E 木棺底板のみ残存 ・[20]第2主体部墓壇 長さ1.3 幅0.53 深さ0.19m 遺体の方位 N-37°-E	・人骨は大腿部以下 残存 仰臥屈肢 ・仰臥位 ・第32次(25号)
26	不明	上 5.0m 5.0m以上 下 6.0m 5.5m以上	0.5m	N-5°-W N-70°-E	西側 2.1m	墳丘頂部から 0.85m	・[21]第1主体部はほぼ中央部で1歳ぐらいの乳児骨 墓壇不明 ・[22]第2主体部墓壇 長さ2.03m幅0.75m 深さ0.15m 遺体の方位 S-63°-E 木棺は底板のみ残存 長さ1.9m 幅0.6m	・歯のみ残存 ・伸展葬 ・第32次(26号)
27	長方形	上 6.0m 3.0m以上 下 6.5m 3.5m以上		不明 N-20°-E	西側 0.8m	0.35m	・不明	・第32次(27号)